

# モダ・ビエント杉並柿ノ木

大賞

## 応募者によるプレゼンテーション

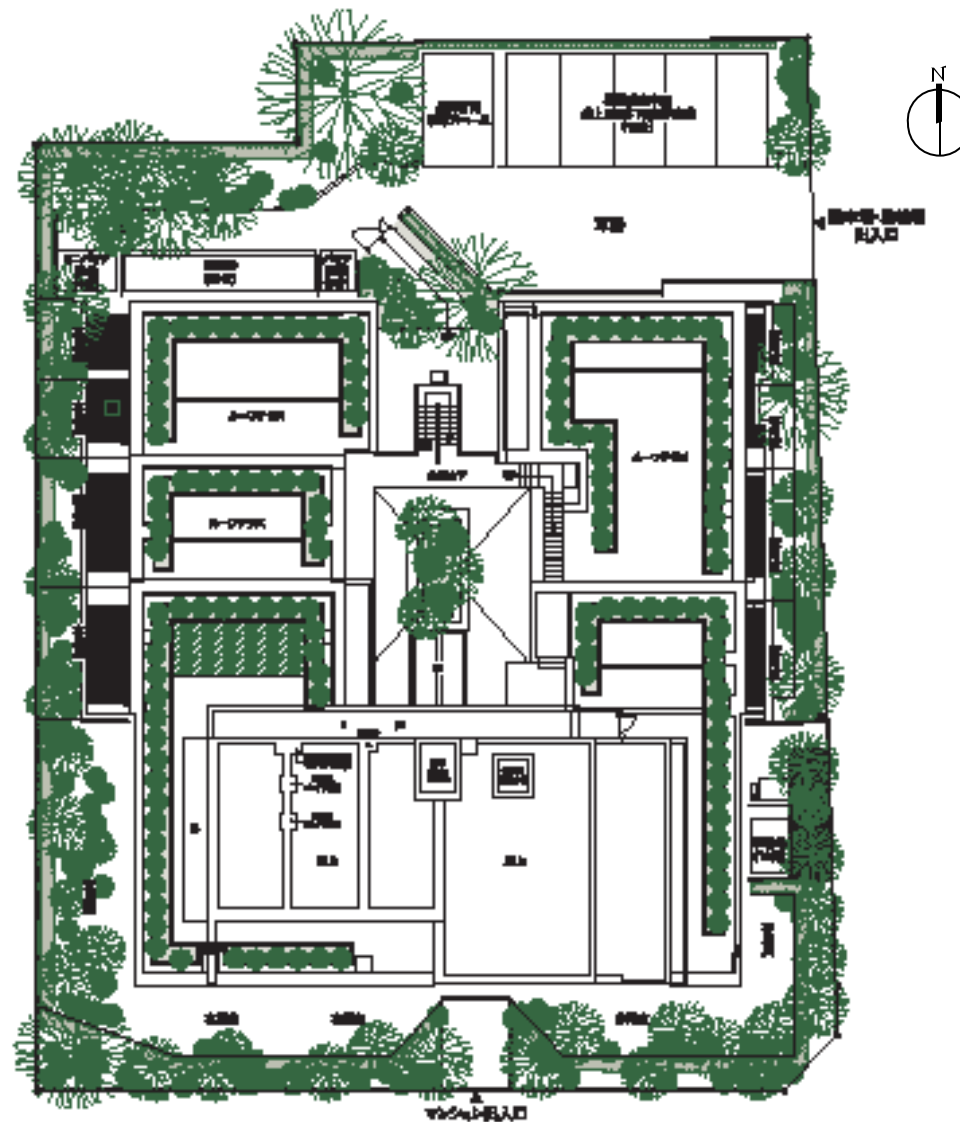
高い緑被率の杉並区は、自然の潤いに包まれた住環境を形成しており、当敷地の周辺にも豊かな自然が残されている。敷地内に鎮座する樹齢百数十年の榎をはじめ、多くの樹木を活用し、周辺の緑豊かな環境とのつながりを継承させたいという想いを基にプランニングにあたった。コンセプトは「杉並の緑豊かな環境の共有と継承」。杉並の緑豊かな立地を損なわないために、従前より敷地内に存在する樹木を最大限に活用した。樹齢百数十年の「榎」が鎮座する敷地内には、四季の移ろいを伝える植栽計画を施し、緑豊かな環境を建物内部に取り込めるように、メゾネットやスキップフロアなどの多彩な空間構成を計画した。主戸内部で視線の高さが変化する階段や、景色を「絵画」の様に切りとる大きな窓を効果的に配置した。住戸を開放し、居住者間のコミュニティ形成を促せるように、ポーチやテラスを中庭に面する外部通路側に設けた。緑豊かな環境を楽しみ、生活の中に取り入れる。環境と人がつながる新しい集合住宅を提案した。周辺環境を切り離す閉鎖的な集合住宅ではなく、杉並の風景の継承に挑戦し、自然を共有・共存する生活と、緑を通したコミュニティ造りを目指した。



屋上から北側にひな壇状に開いている各ルーフバルコニー



エントランスから中庭とケヤキの木を望む



外観全体正面



部屋の中から外部環境の緑を楽しむことができる



外観全体西側



北側隣地との境界にある既存樹木のケヤキ

受賞者

株式会社フィンチ